

地域学習「七ヶ浜を知ろう」～総合の時間より～

5月22日の総合の時間、七ヶ浜町役場 建設課より、講師の先生を招いて、震災当時の町の様子や、その後の復興の様子について、お話をいただきました。前半は、震災当時の町の様子を映した写真や七ヶ浜町で製作をしたアニメを視聴しました。「ヤマザワ」の前にできた長蛇の列の写真が映し出されると、普段見ている景色との違いに、驚きの声が上がりました。

「自分たちにできることを、これからの生活中で見つけていきたい。」学年委員長 O・M さんはお礼の言葉の中で、その思いを堂々と話していました。これからも災害に備え、私たちが取り組むべき対策をしっかりと行っていきたいと思います。今回の講話についての感想をいくつか紹介します。

今日のお話では、今まで知らなかった事をたくさん知れました。今までも知っていたことも詳しく知れてよかったです。お話を聞いて改めて七ヶ浜町の人などみんな協力して、今の七ヶ浜町にもどったということは、すごいと思いました。

(1組 S・K さん)



震災では家が崩れてとても大変だったことがわかりました。そして復興のために、たくさんの人たちが支えていたこともわかりました。そのことを忘れずに、1日1日大切に過ごしていきたいと思います。

(2組 S・I さん)

今日の授業で震災の怖さや復興のことなどを知ることができてよかったです。質問で津波が来た時にどのようにすればいいのかなどを聞いてよかったです。映像は少し怖かったけど、当時の記録された写真などを見ることができました。当時は1歳だったので、その時に分からなかったことが知れて、すごくいい勉強になりました。

(1組 S・Y さん)



震災の時に大変だったことは知っていたのですが、ここまでひどい状況とは思っていませんでした。知ることができてよかったなと思います。35年分のゴミやがれきがあったと聞いて、とても衝撃でした。

(2組 S・K さん)

東日本大震災の時は、まだ1歳だったので、記憶がなかったけれど、アニメや映像の中で、地震を経験した方々の話を聞いて、津波はとても怖いものだと思います。

(3組 K・D さん)



私は、震災時の記憶が全くありません。今日の講話を聞いて、みんなが大変な思いをして、ここまで町を復興させてきたんだなあと感じました。これから住み続ける大切な町なので、決して他人事ではなく、地震への対策をしながら、自分たちでもできることを見つけていきたいです。

(3組 N・M さん)

東日本大震災の時、私たちは1.2歳だったので記憶に残っていませんが、この機会を通じて、震災について知ることができました。もし、大きな地震が来た時、正しい対応ができるようにしたいです。

(3組 T・K さん)

